畑の天気 8 月
☀17日☂4日☁9日🌀1日
最高気温 35℃
平均気温 32℃

うたきの杜たより

第9号

2026.7.16
石垣市平得1032－2

ヘナの乾燥と選別

早朝や夕刻は、とても涼しく気持ちのいい時間になりました。ひぐらしも鳴いています。この島では、白露から秋分までの秋口の涼しい時期を「白夏（すさなつ）」というそうです。今まさに、白夏です。

9 月に入り、今年 2 回目のヘナの刈り取りを始めました。昨年の暖冬や今年の異常な高温など、気候の変化もあり、例年より 1 か月ほど早い刈り取りです。

早朝、刈り取ったヘナは約 60 キロ。枝付きのまま乾燥機に入れ、24 時間回し続けます。

翌朝、乾燥機から一トレイずつ取り出し、枝から葉を落としていきます。葉だけになったら終わり、ではありません。そこからがまた大事な作業です。目を凝らしながら、小さな枝がないか、虫がいないか、一つひとつしっかり見て取り除いていきます。

60 キロあった枝付きヘナが、乾燥して葉だけになると約 6 キロ。10 分の 1 ほどです。乾燥した葉は、少しお茶に似た香りがします。

2～3 人で午前中いっぱいかけての作業です。地元のラジオを聴きながら、近況や最近の話題、推しの話で笑い声もしばしば。でも、気がつくとみんな黙々。手を動かしながら、葉っぱをじっと見て作業しています。

「この乾き方、いいね」

「同じ温度でも、新芽近くは焼けちゃうみたいだね」

「この畑のヘナは枝が硬く、小枝も少し多いかなぁ？」

「どうしてかなぁ？」

そんな話をしながら、乾燥機の温度や時間、湿度などを考えます。そして、「次はこうしてみよう」と試していきます。

ヘナ畑は 3 か所。それぞれ少しずつ育て方を変えています。防草シートの敷き方、堆肥の撒き方、刈り取り方や時期も、試行錯誤の繰り返しです。

栽培して、刈り取って、乾燥して、選別して、粉砕する。すべての工程を自分たちでやっているからこそ、「どうしてこうなったのかな」と気づくことがあります。そして、その気づきが次の畑づくりにつながっていきます。

和気あいあいとした作業場ですが、仕事はかなり真剣です。

屋根のスプリンクラーも直り、クーラーのない作業場も、ようやく少し暑さが落ち着いてきました。

これから 2 か月間、60 キロのヘナと向き合います。これからも頑張ります。

玉城　享子

～乾燥後の選別工程～



葉っぱだけを
落としていく～





目を凝らして～
みんな集中！





乾燥したヘナ葉！
コンテナに保管するよ～
湿気 NG！

裏に…地域トピックス

地域行事

～アンガマ～





アンガマは、旧暦 8 月 13 日から 15 日のお盆に行われる、八重山の伝統行事です。後生（グソー・あの世）からやってきた、ウシュマイ（お爺さん）とンミー（お婆さん）、そしてファーマー（子どもたち）と呼ばれる一行が家々を訪れます。お仏壇の前で歌や踊りを披露したり、楽しい問答をしたりする八重山の伝統行事です。

今年は、母の実家にもアンガマが来ました。

みんなで飲み物を用意して、一行をおもてなし。

実は私も高校生の頃、アンガマに参加していたことがあり、こうして今度は迎える側としてアンガマを見た時、『昔、私も踊ってたな～』と懐かしんでいました。こうやって世代を越えて、地域の中で受け継がれている行事の１つだなと感じた今年の旧盆でした。

わか



お盆の時のお仏壇



地域の人や観光客も見に来るよ



まずは、、、



ウシュマイ・ンミーの踊りから



ンミー✌







ウシュマイとンミーと✌



ファーマーの踊り↑



裏方～演奏は
三線・太鼓全て生演奏





最後は皆でカチャーシー

イタシキバラ

お盆の翌日、獅子舞が行われます。
あの世に帰りそびれた無念仏や悪霊を追い払う無病息災を祈願する行事です。
（石垣市真栄里取材）